

クラブ紹介

【音楽工房】

パソコン同好会

文化センター内の一室にパソコン室があります。ここで私たち十一名は平成十九年四月から第二・第四火曜日を活動日として研修・勉強することになりました。ご指導いただき先生は同級生の清瀬膺暹さんです。

パソコンについては、興味はあるものの実際は右も左もわからないものばかりでした。

電源の入り切り、初めて手にするマウスとかキーボードの操作の説明から機能の説明とか一日が長く感じました。覚えることがたくさんあるのについていけるのか、えらいところに頭を突っ込んだと思いましたが二回、三回、四回……と重ねるうちにだんだんと慣れてはきました。自宅に帰り自分のパソコンを操作してみると教室のパソコンと機種が違うためにうまく操作ができない。タブとかメニューがどこにあるのかもわからないので困りました。

活動日は時間が経つのが早く試行錯誤で一日がすぐに終わってしまいますが結果は何もできていない。手

順を間違えたり、さわり過ぎると動かなくなる。先生に聞く反面、うまくいくと気持ちがいいしうれしいです。何分高齢になると覚えが悪いので何回も質問するようになるので先生は大変です。それでも気持ちよく教えてもらえるので大変感謝しています。

ああでもないこうでもない結局悩んだ末「音楽にしよう」がみんなの合言葉となりました。

教えていただく内容はエクセル、ワードに始まり、写真の取り込み、年賀状の作り方、印次郎、A4でボスターの作り方、3D集計、絵手紙ラベル屋さん、CD表紙印刷、その他いろいろ教えてもらいました。プリント数でいいますと百四十枚くらい、項目別では二百項目以上勉強しましたが忘れたものも沢山あると思います。必要なときは時間がかかります。けれど教本とかプリントを見れば思いだしながら出来ます。何をしても元気でないとできません。体の運動はグラウンドゴルフ、頭の運動はパソコンで楽しみながら頑張っています。

ご指導いただいた清瀬先生は体調を崩され今年一月に他界されました。私たちパソコン同好会の会員は教

えていただいた知識を生かすことで先生に感謝するとともにご冥福を祈ります。



地域の文化活動の紹介

兵庫県立福崎高等学校
吹奏楽部

顧問 谷口正彦

兵庫県立福崎高校吹奏楽部は、昭和二十九年に創部した、福崎高校でも伝統ある部活動の一つです。昭和五十二年には第一回定期演奏会を姫路市民会館にて開催しました。その後、平成七年からは主に福崎町エルデホールにてほぼ毎年定期演奏会を開催しています。平成二十六年二月一日現在の部員数は二十五名で、平日の放課後二時間程度、土曜・休日は半日、または一日練習をしています。主な活動は、四月のライフ福崎店やイオン加西北条店などでのスプリングコンサートをはじめ、民俗広場祭り、定期演奏会、六月の西播支部演奏会のほか、七月には兵庫県吹奏楽コンクール、また、昨年九月にはエルデホールで催された中播磨地域活動交流メッセにも出演しました。そのほか、十一月には福崎町産業祭や、西播吹奏楽祭、兵庫県高等学校総合文化祭吹奏楽部門演奏会、姫路高等学校吹奏楽演奏会、十二月には神河町クリスマスチャリティコ



ンサート、兵庫県アンサンブルコンテスト、一月には福崎町ふるさと文化祭など、福崎町内をはじめ、西播各地域での演奏会・イベントに参加しています。

近年の活動状況は、平成十三年度に兵庫県吹奏楽コンクール高校A部門（大編成の部）に出場し、その後五年間大編成バンドとして活動していましたが、学級減に伴い部員数が減少し、平成十七年度からは高校S部門（小編成の部）での出場となりました。その後、平成二十年度には、高校S部門において金賞を受賞し、西播代表として県大会に出場、銅賞・尼崎市教育委員会奨励賞を受賞しました。西播地区大会ではその後も平成二十二・二十四・二十五年度と金賞を受賞しており、少しずつですが結果を伴う活動ができるようになってきています。

平成十七年には創部五十周年記念の定期演奏会を姫路市民会館で行ったのですが、その後部員数減少のためしばらく開催することができなくなりしました。その後、部員が増えた平成二十一年に第三十回定期演奏会をエルデホールで開催、翌年の平成二十二年からは演奏だけではなく、舞台演出にも工夫を凝らすようにな

り、福崎高校美術部の協力も得ながら、4m四方の吊り物を作成し、舞台上に飾りました。



エルデホールはシューボックス形式のホールなので、音響反射板がありません。そのため、吊り物や客席フロアの使い勝手が他のホールよりも自由度が高く、エルデホールではできない演出がたくさんあります。この年の吊り物「トトロ（ドロップ）」は第一部では、お客様の視界に入らないように飛ばしてあり（ホール天井近くに上げてある状態）、第二部の開始とともに降りてきて照明に浮

かび上がるという演出ができました。また、「サツキとメイ（短冊）」「ネコバス（短冊）」は演奏中の曲に合わせ、振り落とし（巻いて吊ってあった短冊を紐を引いて一気に落とし広げること）を行いました。また、第三部では200個の風船が空を舞いました。

翌年の平成二十三年の定期演奏会では、新しい試みとして、第二部の演奏に合わせて芝居を上演しました。ホリゾント幕（舞台後方の白い幕）に照明でニューヨークの街並みを投影し、「ピンクパンサー」の曲に合わせてピンクパンサーとクルーゾー警部のお芝居を披露しました。また、第三部では昨年のように大きな吊り物を作ったのですが、「宇宙戦艦ヤマト」の曲に合わせて、振り落としはせずに、バックフットライトを用いてヤマトの波動砲を演出、その光の中、吊り物が上から下りてくるという演出を行いました。もちろん最後には300個の風船が宙を舞いました。しかし、この年の秋、部員数が激減し、平成二十四年のふるさと文化祭は八名での参加となり、翌平成二十四年は残念ながら定期演奏会を開催することができませんでした。

平成二十五年には、部員が一気に

増え、二年ぶりに定期演奏会を開催することができました。

この年の第二部は、「天空の城ラピュタ」「となりのトトロ」「魔女の宅急便」の三曲に合わせて、スタジオジブリをテーマとした創作劇を考え、四月に入部したばかりの一年生も参加してお芝居やダンスを披露しました。また、場面に合わせて照明効果で青空や夕暮れ時などを演出していただき、ホールスタッフの皆様と一体となって上演させていただくことができました。第三部では恒例の吊り物を披露したのですが、この年の吊り物は縦5m、横11mと今



までになく巨大なものでした。これは、福崎高校体育館のステージいっぱい大きさに合わせて作ったもので、春休み中に部員が柔道場を貸し切って幅1.2m×50mの布を5mずつに裁断、縫い合わせたものです。あまりの大きさにミシンをかけるだけでも一苦勞で、縫いあがった布は部員全員で広げなければならぬほど大きなものでした。この布に今度は福崎高校美術部に「エヴァンゲリオ



ン」を書いてもらいました。美術部にとってもこれほどの大きなキャンバスに絵を描くことはもちろん初めてで、約一週間ほどかかりながら部員総出で頑張ってくれました。体育館のステージに仮吊りをして微調整、仕上げを行い、定期演奏会本番で披露目されました。メインホールに吊りだされた「エヴァンゲリオン」はまさに圧巻でした。最後には恒例の風船落としもあり、盛大な拍手に包まれて第三十三回定期演奏会は幕を下ろしました。

福崎高校吹奏楽部が、このような盛大な演奏会を催すことができるのは、学校の近くにエルデホールがあるおかげであり、本当に恵まれた環境であるとありがたく思っています。また、例年ホールスタッフの方々には様々な演出等をお願いしているのですが、いつも快く引き受けてくださることに、感謝の言葉しかありません。演奏する部員だけではなく、大きな絵を書いてくれる美術部の友達、エルデホール舞台スタッフの方々やお客様、家族や先生方など、たくさんの方々にお世話になりながら定期演奏会は成功しています。そのことを部員・顧問ともども忘れることなく、常に感謝の気持ちを持ってこ

れからの活動に取り組んでいきたいと思えます。

福崎高校吹奏楽部ではこの平成二十六年四月二十九日に第三十四回定期演奏会を予定しています。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~fukusa>

kihs/club/brass/



兵庫県立福崎高等学校 ギターマンドリン部

顧問 高海道玄

福崎高校ギターマンドリン部は創部三十七年を迎えました。創部当初は、顧問の先生が「西播演奏会」の会場を予約しに徹夜で並ばれたと伺っております。そのおかげで西播の地域にマンドリン音楽が根付きました。また、他校との合同練習を計画して下さり、他校生の演奏技術に驚き刺激を受け練習にも励み、今では伝統という言葉も使えるようになりました。



部の第一の目標は七月の全国大会です。以前には文部科学大臣賞を受賞したこともあります。これからは先輩方に少しでも近づけるように練習に励んでいきます。

福崎町には文化センターや、エルデホールなど環境が整っており、演奏会の練習や定期演奏会でお世話になっていきます。また、町の行事や地域の幼稚園、企業、施設での演奏など活動の機会をいただいています。これからも私たち福崎高校ギターマンドリン部のご指導・支援をよろしくお願いします。

第三十二回 福崎町美術展作品募集

第三十二回福崎町美術展（公募展）の作品を募集します。

皆様方のご応募を心よりお待ちしております。

***会期** 平成二十六年

五月十六日（金）～
五月十八日（日）

***会場** 福崎町エルデホール

***主催** 福崎町・福崎町教育委員会

***部門** 日本画・洋画・書・写真・
彫塑工芸

応募は一部門一人一点、未発表の作品に限る。

***作品搬入**

平成二十六年

五月十日（土）

午前九時～午後四時

***審査員**

日本画	平内 安彦
洋画	初田 寿
書	福島 松韻
写真	柳原 香
彫塑工芸	山本 和子

山桃忌奉賛 第二十九回短歌祭作品募集

柳田國男先生と井上通泰先生の命日にちなみ、両先生を偲ぶ会として、毎年八月に柳田國男・松岡家記念館により山桃忌が行われています。

短歌祭は文化協会と福崎短歌会により、山桃忌の当日に行っています。本年の短歌祭は、左記の要領で作品を募集します。

記

日時 平成二十六年八月二日（土）

場所 福崎町文化センター

主催 福崎町文化協会・福崎短歌会

作品 未発表のもの・一人二首以内

応募料 一首につき五百円

要領 原稿用紙に楷書で縦書き

宛先 福崎町文化センター内

文化協会事務局 宛

締切 平成二十六年六月三十日（月）

賞 通泰賞・町長賞・議長賞・

教育委員会賞・文化協会長

賞・商工会長賞・JA兵庫

西賞・神戸新聞社賞の各賞

と佳作多数

選者 楠田 立身 先生

（兵庫県歌人クラブ顧問）

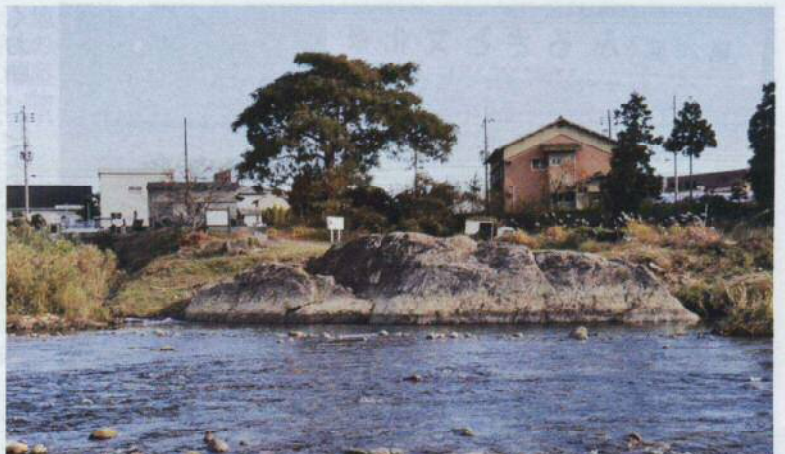
表紙の写真

「市川の清流と神前山」

昨年に続いて市川（駒ヶ岩）の清流と神前山・千束の現風景です。柳田少年が見ていた風景とは大きく異なっていると想いますが、古代より受け継がれてきた周辺の山々と中央に流れる市川等の自然から受ける恩恵は永くこの地の人々の暮らしと発展に寄与したものと想像します。



千束辺り、市川にせまった神前山裾



駒ヶ岩全景

編集後記

たくさんの方々のご協力により、福崎町文化第三十号を発刊することができました。

玉稿をお願いしました皆様方には大変お忙しい中執筆いただき、ご協力くださいましたこと厚く御礼申し上げます。

ありがとうございました。